

平成 30 年 8 月度活動報告

1. 総括

7月に引き続き酷暑でありました8月度も皆様方に支え頂き、議員活動に邁進致しました。ありがとうございます。また個人的にはお盆休みを頂き8月13日(月)に東京九段の靖国神社に参拝させて頂き、ご英霊に哀悼の誠を捧げさせて頂きました。改めて今の日本の平和と繁栄はこの国を造って守ってこられた先輩方のお陰であると強く感じております。しかし現代には現代の課題も山積しており、特に日本全体の防災インフラの強靱化は待ったなしの状況であります。我が敦賀市においても、猛烈な台風20号21号の影響で各所に大きな被害がありました。また北海道地震を見ましても、いつどこで大きな地震が起きるかわからない状況であります。現在敦賀市では市民の皆様方の財産であり、また行政の心臓部であります市庁舎・消防庁舎建替えを急いでおります。現在の市庁舎では耐震性が弱く震度6程度で倒壊の恐れがあり、災害時には避難場所にもなり得る新市庁舎への建て替えは急務であります。8月21日から開会しております定例議会の私の一般質問でも、「敦賀強靱化」の必要性を訴えました。敦賀市にある最小の行政区131区に防災の観点において不安がある部分をすべて行政として各区長にヒアリングをし、各地区で優先順位をつけ予算措置をして一つ一つ防災インフラを整備していくべきと議論しました。地味で根気がいる作業ですが、これこそが基礎自治体の仕事であり、突然の自然災害への備えとなると考えます。「敦賀強靱化」を図る徹底したインフラ整備は今後もしっかりと行政と議論して参ります。

また、8月28日にはお世話になっている地区で市政報告会を開催させて頂きました。現在市政報告会をさせて頂いている地区は、特に少子高齢化が進んでおり且つ地域面積は広いので様々な課題があります。しかしながらどのような状況でも方策はありますし、時代に合った行政をしっかりとやっつけば守れない地域はないと感じます。これからも全力で頑張ってお参ります。



2. 今後のふるさと納税について（議会一般質問の要約）

8月21日～9月13日の会期で開かれております定例議会の一般質問(8/29-31)におきまして、今後の敦賀市のふるさと納税の方向性についても市長をはじめ行政と議論致しました。質問趣旨としては、平成29年度のふるさと納税が返礼品の充実などで約1億2千5百万に達し、平成28年度の200万円と比べると大幅な伸びであり、この状況は私も歓迎している中で、本市としてはまだご寄付頂いたふるさと納税を、どれだけの金額をどのような事業に活用したという報告ができていない状況でありました。ふるさと納税の寄付額の増加を図っていくという方向性の中で、他自治体では既に行われている頂いたご寄付の活用報告について、丁寧に誠意をもって報告・発信していくことが更なるふるさと納税獲得へ繋がると提案し、今後の対応を市長に質問しました。市長の答弁としては、平成30年度より提案の通り、HP上等で頂いたふるさと納税の寄付をどのような事業でどれだけの金額を活用したかしっかりと公表していくとの事でありました。今回の一般質問の中で、本市のふるさと納税としての寄付項目が11項目あり、ご寄付頂く方々に項目を選んで寄付頂いている状況ではありますが、一番寄付金額多いのは「子育て支援」の項目であることもわかりました。本市以外の他市町でその傾向が強く、やはりご寄付をされる方々の気持ちの中で一番大きいことは、次の世代の子どものたちを大切に、育ててほしいとの思いであると感じました。改めて子育てで真ん中世代の議員として、子供たちを取り巻く安全の確保に全力を尽くして参ります。

以上